

令和3年度地域訓練協議会(10月実施分)で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
1 制度の周知について			・最近、ものづくり分野を志望する若者が少ないということで、ハローワークでバスツアーを実施しているが、これからもこのような企画をして、できる限り若年者に対して、ものづくりの現場を体験できるような機会を提供していただきたい。(大阪府職業能力開発協会 小幡委員)	
2 地域特性を踏まえた訓練設定について		<p>・人材不足感の高い訓練分野としてもものづくり分野の有効求人倍率が非常に高い。実際の中小企業の現場では、若い人が集まらず、外国人労働者や技能実習生等を雇い入れている状況。ものづくり分野の訓練生をそのような事業所に案内できるようにしくみを作ってもらいたい。また、現場ではマルチに業務をこなせる人材の育成についても求められる。訓練メニューを策定するにあたり、そのようなマルチ人材の育成についてもご留意いただきたい。(大阪府中小企業団体中央会 柴田委員代理)</p> <p>・コロナの影響によりさまざまな業界の変容、つまり新しい商品の開発等が出てくるため、生産性向上だけでなく、事業の再建等の支援が行えるような人材の育成等も盛り込んでいただけたらありがたい。(大阪府中小企業団体中央会 柴田委員代理)</p>	・訓練の応募についてIT系が非常に多く、機械や溶接等は少ない現状。関係機関と協力しながら、機械、電気、金属加工等様々なものづくり産業の人材教育に力をいれていかなければならない。(高齢・障害・求職者雇用支援機構 原委員)	
3 人材不足分野について			・大阪府の離職者訓練の介護・福祉分野の定員充足率が76.8%、就職率が72.4%と低い。要因や企業へのマッチングの取組について教えていただきたい。また、策定方針にある人材不足分野への取組で令和3年度と4年度で違いがあれば教えていただきたい。(全国産業人能力開発団体連合会 平良委員)	
4 受講者属性等を踏まえた訓練設定について				

令和3年度地域訓練協議会(10月実施分)で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
5 訓練実施機関について				
6 総論的意見について				
7 その他 (上記1~6以外の意見)				